

新型コロナワクチン オミクロン株 (XBB1.5) 対応ワクチンの接種について

【接種対象者】

- ・ 初回接種 (1・2 回目接種) を完了した生後 6 か月以上のすべての町民
※前回のコロナワクチン接種から 3 か月以上あける必要があります。

【使用ワクチン】

- ・ 流行主流株であるオミクロン株 (XBB1.5) 対応 1 価ワクチンを使用します。
※従来株ワクチンより現在の流行主流株 (XBB 系統) に対応したワクチンを使用することで、重症化予防効果に加え、発症予防効果の向上が期待されています。

【接種スケジュール】

- ・ ワクチンは今後計画的に配送される予定ですが、初回で配送されるワクチン量に限りがあるため、現在ご案内できる接種日程は以下の日程のみとなっております。
- ・ 次のワクチン配送日・配送量が決まりましたら、順次日程のご案内をいたします。

対象者 (生年月日)	接種券発送予定日	予約開始日	接種日	接種会場
S20.3.27 以前	R5.8.31 (木)	R5.9.13 (水)	R5.9.26 (火)	保健センター
			R5.9.28 (木)	
S20.3.28 ~ S26.1.20	R5.9.5 (火)	R5.9.21 (木)	R5.10.3 (火)	保健センター
S26.1.21 以降	未定 (決まり次第、ご案内いたします)			

●大津地域にお住まいの方

対象者 (生年月日)	接種券発送予定日	予約開始日	接種日	接種会場
S23.10.7 以前	R5.9.11 (月)	R5.9.25 (月)	R5.10.6 (金)	大津コミセン

●5歳から11歳の方 ※日程は今後変更する可能性がありますので、ご了承ください

対象者 (生年月日)	接種券発送予定日	予約開始日	接種日	接種会場
H23.10.8 ~ H30.10.7	R5.9.11 (月)	R5.9.25 (月)	R5.10.6 (金)	豊頃医院

●生後6か月～4歳の方 ※日程は今後変更する可能性がありますので、ご了承ください

対象者 (生年月日)	接種券発送予定日	予約開始日	接種日	接種会場
H30.12.2 ~ R5.5.30	R5.11.1 (水)	R5.11.13 (月)	R5.11.30 (木)	豊頃医院

※生後6か月になられた方へは初回接種のご案内をいたします。

初回接種がお済でない方

9月20日以降は、初回接種の使用ワクチンもオミクロン株 (XBB1.5) 対応 1 価ワクチンとなります。ご希望される方は、下記相談窓口 (役場福祉課健康係) へご相談ください。

問い合わせ先 (相談窓口) 役場福祉課健康係 ☎ (574) 2214

関西から来た
タカハシさん
話 高橋 強
絵 井下 竜弥
第4回

準備運動はマシンガントーク



地域おこし協力隊 高橋強と高橋真里奈は日々 SNS で、発見と感動を発信しています。みなさま、ぜひご覧ください。ご登録もお願いいたします。



Instagram
ハルニレと自然
(ほぼ毎日更新)



YouTube
いろんな取材動画
(毎週金更新)



Spotify
移住の本音ラジオ
(毎週水更新)

盆踊りの金魚に、日奈夢中

8月15日に開催されたとよころ盆踊り以来、高橋日奈(6)さんは、毎朝金魚に話しかけるのが日課になっていく。盆踊り会場でも多くの子供達が鬼ごっこに夢中の中、日奈は金魚すくいのプールに釘付けになっていた。持ち帰った真つ赤な金魚にワクワクが止まらない日奈。しかし、そんな彼女を待っていたのは厳しい現実だった。なぜなら翌朝には金魚は1匹になってしまったからだ。幸いにも午前3時に目覚めた父が、生存の金魚を、塩素を抜いた水中に移し全滅は免れた。起床後1匹になった金魚を見て日奈は号泣。逝去した2匹を丁寧に葬り、なんとか悲しみに区切りをつけた。以降、日奈の金魚観察は始まった。金魚は病気に罹るものの、日奈が



起床後、金魚に挨拶する日奈

8月17日の夜、高橋優羽くん(10)は夏休みの宿題「自由研究」に苦しんだ。自ら課題設定するのが苦手だと知りながら、優羽は夏休み後半まで自由研究を放置。両親からの叱咤を受け、人気漫画SLUMDUNKの続編をオリジナルで制作することに決めた。(ちなみに優羽は映画未鑑賞)話は良かったけど、作画がもうひとつだったと漏らしながら、初作品に手応えを感じていた。

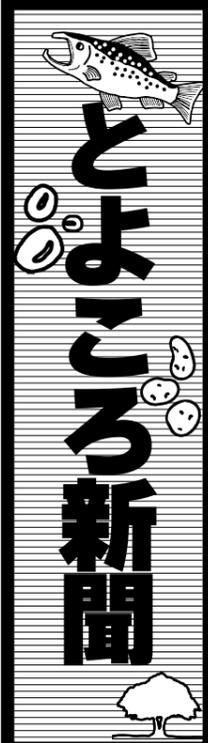


生みの苦しむを味わう優羽

7月29日に中央区で開催された夏まつりでのことだ。スーパーボールすくいに興味を持った高橋万奈さん(4)は豊頃町に遊びにきた祖父から手際良く軍資金を調達。1回目は惨敗。ポイの貧弱さに啞然とする万奈。「もう一回!」さすがの祖父も、簡単に2回目のチャンスは与えない。ねだるのは当面無理だと判断した万奈は、他の子の観察を開始。そして一つの策を思いつく。必ずしもポイでボールをすくう必要はないということ。そしてチャンスは巡ってきた。自信に満ちた万奈の表情。次の瞬間、万奈はポイを握った右手をプールに突っ込み、大きな波を発生させた。ボール達は大波に乗り左手が持つお椀の中へ!当然ポイは完全に破れている。おじさんは大爆笑。「もうほとんど八百長やけどなあ。全部はダメだけど、好きなボール持ってるいいよ」後めたさはあるのだろうか、口を真一文字に結んだ万奈は、無言でうなずき、特大のスーパーボールを選んだ。ボールのグレイゾーンを突く嗅覚。我が子ながら、恐ろしさを感じずにはいられない。



終了後おじさんを見つめる万奈



2023年9月
企画・取材・執筆
撮影・デザイン
イラスト/高橋 強

豊頃新聞は、豊頃町へ移住した「地域おこし協力隊」の高橋家の些細な出来事や感動をお届けするコーナーです。

妻、大量の虫に大困惑
17日大量の虫が室内に侵入。経路不明で対策が困難なため、妻のストレス指数が上がっている。

万奈、反則ストレスのボールすくい